

## 栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)

【単独・連携事業】

市町名	壬生町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	健康ふくしまつり開催事業	総事業費		1,790,000	1,800,001	1,800,002	1,570,000	6,960,003
		うち市町支出額		1,520,000	1,530,000	1,530,000	1,530,000	6,110,000
		うち県交付金		760,000	765,000	765,000	0	2,290,000
2	壬生町DESTINATIONキャンペーン推進事業	総事業費		2,000,003	2,000,007	1,800,004	500,000	6,300,014
		うち市町支出額		2,000,000	2,000,000	1,800,000	500,000	6,300,000
		うち県交付金		1,000,000	1,000,000	900,000	0	2,900,000
3	壬生まちなか創生プロジェクト	総事業費		1,000,003	1,000,003	2,000,007	500,000	4,500,013
		うち市町支出額		1,000,000	1,000,000	2,000,000	500,000	4,500,000
		うち県交付金		500,000	500,000	1,000,000	0	2,000,000
4	[みぶブランド]インスパイア～新たな商品価値～	総事業費		500,004	1,000,005	2,595,005	500,000	4,595,014
		うち市町支出額		500,000	1,000,000	2,595,000	500,000	4,595,000
		うち県交付金		250,000	500,000	1,297,500	0	2,047,500
5	おもちゃのまち活性化プロジェクト	総事業費			1,000,003	1,000,006	1,000,000	3,000,009
		うち市町支出額			1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
		うち県交付金			500,000	500,000	500,000	1,500,000
6	壬生町情報発信拠点推進事業	総事業費				3,043,308	3,001,000	6,044,308
		うち市町支出額				3,000,000	3,000,000	6,000,000
		うち県交付金				1,500,000	1,500,000	3,000,000
7	みぶの日開催事業	総事業費			583,585	161,017	600,000	1,344,602
		うち市町支出額			583,585	161,017	600,000	1,344,602
		うち県交付金			291,792	80,508	300,000	672,300
8	郷土の偉人顕彰作業	総事業費		2,793,940	2,783,774	1,997,900	3,000,000	10,575,614
		うち市町支出額		2,793,940	2,783,774	1,997,900	3,000,000	10,575,614
		うち県交付金		1,126,970	1,121,887	750,000	0	2,998,857
9	かんぴょう音頭踊り発表会	総事業費				1,254,793	500,000	1,754,793
		うち市町支出額				1,000,000	0	1,000,000
		うち県交付金				500,000	0	500,000
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	0	8,083,950	10,167,378	15,652,042	11,171,000	45,074,370
		うち市町支出額	0	7,813,940	9,897,359	15,083,917	10,630,000	43,425,216
		うち県交付金	0	3,636,970	4,678,679	7,293,008	2,300,000	17,908,657

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市 町 名	壬生町
事 業 名	健康ふくしまつり開催事業
事業主体の名称	壬生町健康ふくしまつり実行委員会
代表者の名称	会長 小菅 一弥
事業主体の所在	〒321-0292 下都賀郡壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:健康増進、福祉に関する普及・啓発活動の展開を通じて町民の意識効用のために事業実施を目的とする</li> <li>・設立年月日:平成2年</li> <li>・構成員等:町長、副町長、町社会福祉協議会長、委員</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の高齢化が進み、事業参加者も長年参加している団体が多く、来場者も高齢の方が多い。若年層の事業参加や来場者を増やしていく必要がある。</li> <li>・福祉事業に関する団体の参加も多く、福祉に関する意識は高いが、今後は町の健康寿命延伸のためにも町民の健康増進意識の更なる向上を目指す必要がある。</li> </ul>
事業目的	町民の健康意識・福祉意識の高揚を図り、健康寿命の延伸を図るため。
事業概要	<p>○令和元年度取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 町医師会による健康に関する講演会や、シンポジウムの開催</li> <li>2 町歯科医師会による歯科相談、口腔がん健診、母子保健推進員による子どもの身体測定やこども向けの屋内遊具</li> <li>3 健康増進意識向上のための体験コーナー(血管年齢チェック)や啓発活動の普及(町食生活改善推進員による減塩対策の展示)、エコキャップ回収</li> <li>4 介護・福祉施設の案内や、介護・福祉用具の展示。地域包括支援センターによる介護・看護相談</li> <li>5 参加団体による手話・点字・傾聴・車イスの体験コーナー</li> <li>6 町職員による、年金・行政相談</li> <li>7 保健事業・福祉事業功労者、よい歯のコンクール入賞者表彰</li> <li>8 町内中学生有志によるのボランティア参加</li> <li>9 町保健委員会による健康O×クイズの開催</li> </ol> <p>○令和2年度取組(予定)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高齢者のロコモティブシンドロームのチェックや若者の体力測定</li> </ol>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:壬生町で安心して元気に暮らす 戦略プロジェクト:健康長寿のまちづくり KPI:健康寿命 男77.92歳 女81.25歳(H22)⇒男81歳 女85歳(R2)【H28年度実績:男78.99歳 女83.94歳】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	元年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	1 町医師会による講演会・町歯科医師会による歯科相談 2 町民の健康増進意識向上のための啓発活動 3 福祉活動の体験	1 町医師会による講演会・町歯科医師会による歯科相談 2 町民の健康増進意識向上のための啓発活動 3 福祉活動の体験	1 町医師会による講演会・町歯科医師会による歯科相談 2 町民の健康増進意識向上のための啓発活動 3 福祉活動の体験		1 町医師会による講演会・町歯科医師会による歯科相談 2 町民の健康増進意識向上のための啓発活動 3 福祉活動の体験
事業費	1,790,000	1,800,001	1,800,002	5,390,003	1,570,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,520,000	1,530,000	1,530,000	4,580,000	1,300,000
うち県交付金	760,000	765,000	765,000	2,290,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	270,000	270,001	270,002	810,003	270,000

市町担当情報

グループ(係)名	健康福祉課健康増進係
担当者名	秋山優太
連絡先	電話 0282-81-1885
	FAX 0282-81-1121
	E-mail kenko@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	健康ふくしまつり開催事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	1,530,000	
補助金	270,000	壬生町社会福祉協議会補助金
利息	2	
計	1,800,002	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
委託料	1,479,500	1,209,500	604,750	270,000	会場設営、警備、看板設置等
報償費	144,550	144,550	72,275	0	出演者・手話通訳謝礼
消耗品費	170,016	170,014	85,007	2	事務用品(プリンター関係消耗品、ゴミ袋、花紙、色紙等)
役務費	2,420	2,420	1,210	0	振込手数料
会議費	3,516	3,516	1,758	0	有識者等お茶代
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,800,002	1,530,000	765,000	270,002	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市 町 名	壬生町
事 業 名	壬生町デスティネーションキャンペーン推進事業
事業主体の名称	壬生町DC実行委員会
代表者の名称	会長 小菅 一弥
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:JRの大型誘客キャンペーンに合わせ壬生町の地域資源をPRし本町への誘客拡大を図る。</li> <li>・設立年月日:平成29年3月設立</li> <li>・構成員等:観光協会、商工会、おもちゃ団地協同組合など</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>栃木県において、JRのデスティネーションキャンペーン(通称DC)「本物の出会い栃木」が平成30年4月から6月の期間で開催され、観光振興の機運が高まっている。壬生町には、「歴史」や「文化」「おもちゃ」などの豊富な地域資源があるにも関わらず、十分にPRがされていない状況である。本キャンペーンを機会とし、DCと連携しながら、壬生町の地域資源を全国に発信することが期待されている。</p>
事業目的	<p>DCは、平成29年度をプレDC、平成30年度を本DC、令和元年度をアフター-DCと位置付けられており、対象期間内における重点観光PRが重要な鍵となっております。本事業では、壬生町が有する地域資源の情報発信を行い、本町を訪れる人を増やす。 本町を訪れた方に対し、「おもてなし」と「壬生でしか得られない思い出づくり」を提供し、再訪を促す。</p>
事業概要	<p>DCは、平成29年度をプレDC、平成30年度を本DC、令和元年度をアフター-DCと位置付けられており、対象期間内における重点観光PRが重要な鍵となっている。平成30年1月には、473室の県内最大級のビジネスホテルが完成するなど、本町の観光振興の大きなチャンスと捉えている。本事業を実施することにより、既存の観光資源の磨き上げを行い、新たな観光資源を発掘し、観光客の誘客促進を図った。</p> <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①観光プロモーション事業 旅行商品の造成、おもちゃのまち地区無料周遊バス、観光PR等を行った。</li> <li>②まち愛スポット事業 壬生町観光おもてなし協力施設「まち愛」スポット認定事業者を増やし、おもてなし力の向上を図った。</li> <li>③観光パンフレット作成事業 観光パンフレットの一部リニューアル30,000部 サイクルマップ作製3,000部</li> </ul> <p>【令和2年度】 令和元年度の事業成果であるDCレガシーを活用し、壬生町への誘客拡大を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,805,764人(H26)→25%増加(R1)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	元年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①グーグルマップ連携 WEBサイト作成事業 ②休憩所協力認定事業 ③観光ガイドパンフレット作成事業 ④WEBを活用した町内周遊	①まち歩き&サイクルマップ作成事業 ②観光プロモーション事業 ③まち愛スポット事業 ④観光ノベルティ作成事業	①観光プロモーション事業 ②まち愛スポット事業 ③観光パンフレット作成事業		①観光プロモーション事業 ②まち愛スポット事業 ③観光パンフレット作成事業
事業費	2,000,003	2,000,007	1,800,004	5,800,014	500,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,000,000	2,000,000	1,800,000	5,800,000	500,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	900,000	2,900,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3	7	4	14	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課観光交流係
担当者名	稲葉 礼紗
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生町デスティネーションキャンペーン推進事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
壬生町補助金	1,800,000	栃木県わがまち未来創造事業補助金900,000円 壬生町補助金 900,000円
利子	4	
計	1,800,004	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源		備考
		市町支出額	自主財源等	
			県交付金	
報償費	20,000	20,000	10,000	0 謝礼10,000×2回 東京等でのPR
旅費	121,700	121,700	60,850	0
消耗品費	168,346	168,342	84,171	4 PR消耗品
食糧費	1,598	1,598	799	0 有識者等お茶代
印刷製本費	948,822	948,822	474,411	0 観光パンフレット30,000部 サイクルマップ3,000部
広告費	296,322	296,322	148,161	0 ツアー造成による宣伝
委託費	243,216	243,216	121,608	0 町内周遊バス運行業務等
				0
				0
				0
計	1,800,004	1,800,000	900,000	4

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生まちなか創生プロジェクト
事業主体の名称	壬生まちなか創生ワーキング
代表者の名称	会長 水井正行
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 壬生市街地エリアの賑わい創出を目的とする。</li> <li>・設立年月日: 平成29年6月</li> <li>・構成員等: 地元商店主、タクシー事業者、大学、銀行、商工会、メディア、壬生町</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	壬生市街地エリアは、壬生藩城下町、日光例幣使街道宿場町、そして、まち医者が多いことから、蘭学のまちとして、壬生町の中心街である。しかしながら、近年、自動車に依存した生活スタイルの変化や郊外の大型商業施設の立地等により、人通りが減少している。さらには、店舗等経営者の後継者確保に苦慮しており、空き店舗等が増加している状況である。
事業目的	壬生まちなか創生ワーキングは、地方創生の「産・官・学・金・労・言」により構成されており、地方創生を現場レベルで推進する組織として、平成29年6月に設立しました。本地域が有する地域資源の発掘や活用、地域で活躍する人材の育成、地域の魅力発信などを行い、壬生市街地の賑わい創出する。
事業概要	<p>壬生まちなか創生ワーキングは、壬生市街地の活性化を図るため、参加メンバーの各種アイデアをもとに、事業を展開している。本地区内に埋もれた地域資源を有効に活用し、近隣住民に愛されるイベント、地区を目指し、人と人とのつながりにより、地区の魅力を発信し、向上を図った。</p> <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①まちなかイベント連携事業 地区内で開催される「みぶっ子まちなかストリート」や、近接する東雲公園で開催される「しのもの花まつり」などと連携し、まちなかの賑わいを創出した。</li> <li>②壬生流ふくべたちのハロウィンナイト事業 栃木県かんびょう発祥地である壬生町らしいハロウィンイベントを開催し、町内への誘客を図るとともに、本町の特色を全国に発信した。</li> <li>③壬生町PR動画作成事業 壬生町のPR動画を作成することにより、本町の特色や素晴らしさを全国へ発信した。</li> </ul> <p>【令和2年度】</p> <p>令和元年度実施事業を検証しながら、エリア内でのミニイベント等の開催を増やし、活性化に繋げる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,805,764人(H26)→25%増加(R1)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	元年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①まちなか周遊スタン プ ラリー事業 ②観光交流スペースま ちなか情報発信強化 事業 ③自成館周辺でのミニ まちなかPRイベント開 催事業 ④まちなか子ども商店 街事業	①夢浪漫情報発信強 化事業 ②まちなかイベント開催 事業 ③まちなか周遊イベント 開催事業 ④まちなか街灯フラッグ 設置事業	①まちなかイベント連携 事業 ②壬生流ふくべたちの ハロウィンナイト事業 ③壬生町PR動画作成 事業		①まちなかイベント連携 事業 ②壬生流ふくべたちの ハロウィンナイト事業 ③壬生町PR動画作成 事業
事業費	1,000,003	1,000,003	2,000,007	4,000,013	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	2,000,000	4,000,000	500,000
うち県交付金	500,000	500,000	1,000,000	2,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3	3	7	13	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課観光交流係
担当者名	河田 将貴
電話	0282-81-1844
連絡先 FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生まちなか創生プロジェクト	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
壬生町補助金	2,000,000	栃木県わがまち未来創造事業補助金1,000,000円 壬生町補助金 1,000,000円
利子	7	
計	2,000,007	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町	県交付金		
報償費	30,000	30,000	15,000	0	出演者謝金1名
消耗品費	230,716	230,716	115,358	0	子ども店長装飾品、ふくべ等
食糧費	1,922	1,922	961	0	イベント等出演者用お茶代
印刷製本費	278,629	278,629	139,311	7	イベントチラシ3000枚×6回 イベントポスター100枚×8回
委託料	1,448,870	1,448,870	724,435	0	PR動画作成、商店街装飾品 (フラッグ)等
保険料	9,870	9,870	4,935	0	損害保険料
				0	
				0	
				0	
				0	
計	2,000,007	2,000,000	1,000,000	7	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	「みぶブランド」インスパイア ～新たな商品価値～
事業主体の名称	みぶブランド推進協議会
代表者の名称	会長 櫻井康雄
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:みぶブランドとして、商品を認定し、町外への町商品のPRを推進する。</li> <li>・設立年月日:平成24年2月15日</li> <li>・構成員等:民間企業、調理師専門学校、おもちゃ団地協同組合、町</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	みぶブランドは、平成26年度の初認定から、これまでに19社35商品が認定となっている。これまで、認定商品を認定企業からいただいた商品案内等を中心に、商品PRを行っていたが、町民等の認知度向上に苦慮している状況である。販売については、認定されたことにより増加したものの、さらなる向上が必要である。
事業目的	本事業では、みぶブランドとして認定された商品の認知度向上と、販売促進を図る。
事業概要	<p>みぶブランドの認知度向上には、認定商品を使った新しい料理などの展開や認定業者相互連携による新たな商品展開が望まれており、本事業を実施した。</p> <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①みぶブランド認定審査事業 「壬生町らしさ」をテーマに通年で、商品等を募集し、認定基準に基づいた審査を行い、認定商品の拡大を図った。</li> <li>②みぶブランドPR事業 認定商品のパンフレットやのぼり等を作成し、ブランド品認知度の向上を図った。</li> <li>③みぶブランド逸品づくりプロジェクト 壬生城で食されていた料理レシピを参考に新たな名物料理「大名料理」の開発及びPRを図った。</li> </ul> <p>【令和2年度以降】</p> <p>令和元年度に実施した事業を検証しながら、事業を推進する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	壬生町創生総合戦略 戦略プロジェクト1-2 農商工業連携による町の活性化 KPI:地域ブランド品目認定数 10件(H26)→20件(R1)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	元年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①みぶブランド認定審査事業 ②認定商品インスパイア事業 ③認定商品PR事業	①みぶブランド認定審査事業 ②みぶブランドPR事業 ③みぶブランド逸品づくりプロジェクト	①みぶブランド認定審査事業 ②みぶブランドPR事業 ③みぶブランド逸品づくりプロジェクト		①みぶブランド認定審査事業 ②みぶブランドPR事業 ③みぶブランド逸品づくりプロジェクト
事業費	500,004	1,000,005	2,595,005	4,095,014	500,000
市町支出金(ソフト事業分)	500,000	1,000,000	2,595,000	4,095,000	500,000
うち県交付金	250,000	500,000	1,297,500	2,047,500	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4	5	5	14	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課観光交流係
担当者名	稲葉 礼紗
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp



栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「みぶブランド」インスパイア ～新たな商品価値～	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
壬生町補助金	2,595,000	栃木県わがまち未来創造事業補助金1,297,500円 壬生町補助金 1,297,500円
利子	5	
計	2,595,005	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	331,000	331,000	165,500	0	認定審査会3回、レベルアップ講座6回謝礼
旅費	7,080	7,080	3,540	0	レベルアップ講座打ち合わせ
消耗品費	96,833	96,828	48,414	5	認定証額、販売店名シート、PR消耗品
印刷製本費	1,453,766	1,453,766	726,883	0	みぶブランドパンフ3,000部 お殿様料理パンフ3,000部
委託費	680,531	680,531	340,265	0	お殿様料理PR業務、掛け紙デザイン等
負担金	25,795	25,795	12,898	0	イベント出店負担金
				0	
				0	
				0	
計	2,595,005	2,595,000	1,297,500	5	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	おもちゃのまち活性化プロジェクト
事業主体の名称	おもちゃのまち遊遊ワーキング
代表者の名称	会長 小林信作
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	・団体の目的:おもちゃのまち地区の賑わい創出を目的とする。 ・設立年月日:平成30年7月 ・構成員等:地元商店主、タクシー事業者、大学、銀行、商工会、おもちゃ関連施設、壬生町
当該事業に係る地域の現状と課題	おもちゃのまち地区は、昭和40～50年代にかけて、おもちゃ産業の拠点となった地区である。しかしながら、生産拠点が海外に移ったことなどにより、おもちゃ生産工場は相次いで撤退し、数社が残る状況である。現在は、全国でも珍しい地名「おもちゃのまち」として、「おもちゃのまちパルティミュージアム」等を中心に「おもちゃ」の楽しさや面白さを来町される方へ伝えているが、住民や訪れる方から、「おもちゃのまちらしい雰囲気を感じられるとよい」との声が多く寄せられて、まちづくりの課題となっている。
事業目的	おもちゃのまち遊遊ワーキングは、「おもちゃのまちらしさ」を醸し出せるよう、地域住民、商店主、地元ホテル、金融機関、おもちゃ関連博物館等がアイデアを持ち寄り、地域の力を結集し、まちづくりに取り組み、観光客入込数の増加を図る。
事業概要	おもちゃのまち遊遊ワーキングでは、おもちゃのまち地区の活性化を図るため、核となる施設「壬生町おもちゃ博物館」や「おもちゃのまちパルティミュージアム」「ホスピタルイン獨協医科大学」を中心とし、おもちゃのまち駅東西の商店街も一体となったまちづくりを展開した。 【令和元年度】 ①おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 おもちゃのまちで、ビーズアクセサリーなどを作成し、子どもから大人まで楽しめる「おもちゃのまち」らしいイベントを開催した。 ②「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 おもちゃのまち駅周辺には、多くの飲食店があり、ホスピタルイン獨協医科大学を利用する方々などの観光客に向けた飲食パンフレットを作成した。 ③「おもちゃのまち」街並み装飾事業 おもちゃのまちらしいフラッグを設置し、来町者数の増加を図った。 ④「おもちゃのまち」DE街コン事業 定期的に町飲食店で開催し、おいしい料理やゲームなどをして男女の出会いの場を作った。 【令和2年度】 令和元年度実施事業を検証しながら、事業展開を進め、活性化に繋げる。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,805,764人(H26)→25%増加(R1)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	元年度	2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①おもちゃのまちDE銀杏並木まつり事業 ②おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 ③「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 ④「おもちゃのまち」街並み装飾事業	①おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 ②「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 ③「おもちゃのまち」街並み装飾事業 ④おもちゃのまちDE街コン事業	①おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 ②「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 ③「おもちゃのまち」街並み装飾事業 ④おもちゃのまちDE街コン事業		①おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 ②「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 ③「おもちゃのまち」街並み装飾事業 ④おもちゃのまちDE街コン事業
事業費	1,000,003	1,000,000	1,000,000	3,000,009	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	500,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3	6	0	9	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課観光交流係
担当者名	河田 将貴
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもちゃのまち活性化プロジェクト	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
壬生町補助金	1,000,000	栃木県わがまち未来創造事業補助金500,000円 壬生町補助金 500,000円
利子	6	
計	1,000,006	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町支出額	県交付金		
消耗品費	35,130	35,130	17,565	0	事務用(養生テープ等) うまいものマップ10,000部
印刷製本費	287,240	287,240	143,620	0	
委託料	677,636	677,630	338,815	6	街灯フラッグ作成
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,000,006	1,000,000	500,000	6	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生町情報発信拠点推進事業 /
事業主体の名称	道の駅みぶ連絡推進協議会
代表者の名称	道の駅みぶ連絡推進協議会 会長 山重利子
事業主体の所在	壬生町大字国谷1870番地2
事業主体の概要	<p>・団体の目的:道の駅みぶのイベント情報、町からの事務連絡、各店舗からの情報などを共有し、円滑な施設運営を図り、道の駅みぶ来場者の向上を実践する。</p> <p>・設立年月日:平成31年4月1日</p> <p>・構成員等:みぶの路代表、㈱おもちゃメーカー協力会代表、みぶのやおやさん代表、ミッパタウン代表、みらい館代表、栃木県民公園福祉協会、町施設振興公社、町商会、町</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>みぶハイウェイパークが、平成21年10月に供用開始してから現在、年間250万に近くの来場者がある施設となり、施設内の店舗においては、町内20社で構成された法人等による売店、食堂、町内生産者で多くの農産物を販売している農産物直売所、町内パティエによるフルーツパーラーがあり、壬生町の特産品等の販売の拠点となっている。</p> <p>しかしながら、高速道路のPAとしての利用者にとっては、観光目的地向への立ち寄り所としての利用であるため、みぶハイウェイパーク、道の駅みぶの認知度が低く感じられる。</p> <p>また、道の駅みぶには、おもちゃ博物館やわんぱく公園があり、1日遊べる施設もあるため、立寄り場所ではなく、観光目的地としてPRしていくために、道の駅の玄関口であるみらい館で、定期的なイベントを実施する必要がある。</p>
事業目的	壬生町の産業振興、文化振興及び地域の活性化を推進すると共に町民相互の交流や来訪者への情報提供等を促進するための拠点施設として積極的にPRをし、認知度を高め、観光客入込数の増加を図る。
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>①イベント開催 ・みらい館来場者向上のため、春季来場者感謝祭、秋季収穫祭・感謝祭等を3連休に当たる時期に開催し、ステージイベントやスタンプラリーを実施し、滞在時間の拡大を図った。 ・農産物直売所を活用し、野菜の詰め放題、米のつかみ取り等、農産物のイベントを開催した。</p> <p>②販売促進(研究・開発) ・みらい館のオリジナルの商品を研究し、壬生町らしいお土産品の開発を行った /</p> <p>③PR活動 ・イベントの開催チラシを作成し、新聞折り込みにより広告した / ・インターネット上に広告を掲載し、県外の来場者の促進を図った / ・地元新聞等に広告を掲載し、PRを行った。</p> <p>【令和2年度】前年度の反省点等を踏まえ、継続して実施</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しい人の流れをつくる。 【数値目標】観光入込客数 3,805,764人(H26)→25%増加(R1)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	元年度	2年度	3年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①イベント開催 / ②販売促進 / ③PR活動 /	①イベント開催 ②販売促進 ③PR活動 ④道の駅イベント出店	①イベント開催 ②PR活動 ③道の駅イベント出店		①イベント開催 ②PR活動 ③道の駅イベント出店
事業費	3,043,308	3,001,000	2,574,000	8,618,308	2,574,000
市町支出金 (ソフト事業分)	3,000,000	3,000,000	2,573,000	8,573,000	2,573,000
うち県交付金	1,500,000	1,500,000	0	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	43,308	1,000	1,000	45,308	1,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課みらい館係
担当者名	大橋 由孝
電話	0282-82-3591
連絡先 FAX	0282-82-3593
E-mail	miraikan@bz03.olala.or.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町		※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生町情報発信拠点推進事業(みぶハイウェーパーク)		
対象年度	元	年度	

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	3,000,000	
雑入	3,308	イベント参加料、利息等
チラシ広告協賛費	40,000	広告協賛@10,000円×4事業者
計	3,043,308	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	149,665	149,664	74,832	1	イベント出演者謝礼、商品研究講師謝礼等
消耗品	251,772	248,466	124,233	3,306	イベントPRノベルティ等
印刷製本費	486,700	446,700	223,350	40,000	みらい館イベント用チラシ(新聞折り込み)
通信運搬費	1,403	1,402	701	1	パンフレット郵送代等
広告費	420,010	420,010	210,005	0	ネット、新聞等広告費
委託料	1,729,960	1,729,960	864,980	0	ステージ等設営業務、駐車場警備業務、音響設備業務、司会進行業務、ステージ演奏業務等
原材料費	3,798	3,798	1,899	0	かんぴょう料理研究材料費等
				0	
計	3,043,308	3,000,000	1,500,000	43,308	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	みぶの日開催事業【新型コロナウイルスの影響により中止】
事業主体の名称	みぶの日実行委員会
代表者の名称	会長 櫻井 康雄
事業主体の所在	栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 毎年3月2日「32(みぶ)の日」を中心に壬生町の魅力を発信するためのイベントを開催する</li> <li>・設立年月日: 平成27年12月</li> <li>・構成員等: 社会福祉協議会、自治会連合会、商工会、JALもつけ壬生地区営農経済センターなど</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	本町は伝統芸能や優れた食文化等の地域資源を有しているが、認知度不足、担い手の高齢化などの問題を抱えており、有効に活用しきれていない状況が続いていることから、毎年3月2日「32(みぶ)の日」を位置づけて、その魅力を再認識するとともに、町内外に発信することが求められている。
事業目的	「みぶの日フェア」を開催することにより、町民の交流促進や地域資源の掘り起こしを図るとともに、町外や県外に向けて、壬生町の魅力を発信し、壬生町に訪れる方に「ちょっと寄りたいまち・みぶ」として定着を目指すことで、交流人口の増加及び町の活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>事業名称: みぶの日フェア 開催日: 令和2年3月1日(日) 開催場所: みぶハイウェイパークみらい館(道の駅みぶ)</p> <p>①各種ステージイベント: 壬生町出身アーティスト等によるステージ、壬生町の伝統芸能のステージ演奏 ②町特産品を活用した料理の提供: 特産「かんびょう」を使ったカミナリ汁、特産「みぶ菜」を使ったオリジナル料理など ③町特産品の販売: 特産物(いちご・トマト等)の販売、みぶブランド認定品の紹介・販売、おもちゃ関連の販売など ④町の歴史・文化の紹介: 壬生町の歴史・文化財紹介など ⑤体験コーナー: ふくべ細工づくり体験、かんびょうボウリング、缶バッジづくり</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,805,764人(H26)→25%増加(H31) 【H30実績 3,709,996人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町特産品の販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町特産品の販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー  ①～⑤の準備に要した経費	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町特産品の販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー		①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町特産品の販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー
事業費	583,585	161,017	600,000	1,344,602	600,000
市町支出金 (ソフト事業分)	583,585	161,017	600,000	1,344,602	600,000
うち県交付金	291,792	80,508	300,000	672,300	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	黒澤 俊広
電話	0282-81-1813
FAX	0282-82-8262
E-mail	sougo@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	みづの日開催事業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	161,017	町補助金
計	161,017	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
委託費	99,709	99,709	49,854	0	会場設営キャンセル料 (@99,709円×1式)
印刷製本費	31,498	31,498	15,749	0	ポスター(@674.5円×30枚) チラシ(@21円×300枚)
消耗品費	29,810	29,810	14,905	0	事務用消耗品
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	161,017	161,017	80,508	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	「郷土の偉人顕彰作業」
事業主体の名称	「郷土の偉人顕彰作業」実行委員会
代表者の名称	会長 田村幸一
事業主体の所在	〒321-0225 栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33(壬生町立歴史民俗資料館内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:郷土の偉人を知ることにより、郷土文化の再認識と高揚を図ります。</li> <li>・設立年月日:令和元年5月18日</li> <li>・構成員等:教育長、壬生論語作成実行委員会他</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するものを記載)</p> <p>壬生町立歴史民俗資料館では、平成4年度から小学校との連携により「郷土の偉人顕彰作業」を開始している。その作業の中で「論語の街・壬生」そして、「学問の府・壬生」を見だし、「街づくり」の一環として情報を発信している。この発信された歴史から、平成25年度に刊行した『壬生論語古義抄』を副読本として、管内小学校は「論語」を誦んじる素読を導入した。また、同年には町民を対象とした「壬生論語古義塾」を開講し、歴史に基づく確かな第一歩を踏み出している。しかしながら、近年発見された歴史を広く浸透させることは難しく、引き続き「偉人顕彰」を行うことにより、壬生藩学、ひいては壬生という地域の特色を多くの町民に発信続ける必要がある。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>「郷土の偉人顕彰作業」を行い、その結果を企画展やイベントで発表し、住民が地域に誇りと愛着を持てるように啓発する。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>①開催イベント名称:「壬生町民 1000人、の論語大朗読 -ギネス世界記録に挑戦-」 ②日時:令和元年11月24日[日] 午前9時-正午 ③内容:第I部 壬生町民 1000人、の論語大朗読-ギネス世界記録に挑戦- 第II部 講演&amp;鼎談 第III部 「みぶっ子、論語サミット&amp;小中学生の論語朗読」 ※結果、「同時に孔子の言葉を暗唱した最多人数」748人で《ギネス世界記録》を達成した。 本事業は、壬生の伝統的言語「論語」を誦んじることにより、地域に誇りと愛着が生まれ、壬生町民1000人を集めての朗読は、人の心をつなぎ、地域全体の一体感に役立てることができた。町民同士の横のつながり、そして達成時の高揚感を共有することで住民との絆を深め、町の財産となった。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>郷土愛の醸成によるUターン推進</p> <p>【数値目標】観光客入込数3,805,764人(H26)→25%増加(R1) 転入者数1,346人(H26)→20%増加(R1)</p> <p>①先人たちの活躍を知ることにより、町民に郷土に対する誇りと愛着が生まれる。 ②全国に壬生藩校の出身者についての情報を発信することにより、交流人口の輪を広げる。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	元年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①企画展「籠師 武関翠心-竹の技人-」の開催 ②鼎談&ギャラリートークの実施	①企画展『壬生のヒボクラテスたち』の開催 ②シンポジウムの実施	①「壬生町民 1000人、の論語大朗読」 ②講演&鼎談 ③「みぶっ子、論語サミット&小中学生による論語朗読」		①「第18回全国藩校サミット壬生大会」の実施
事業費	2,793,940	2,783,774	1,997,900	7,575,614	3,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,793,940	2,783,774	1,997,900	7,575,614	3,000,000
うち県交付金	1,126,970	1,121,887	750,000	2,998,857	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	歴史民俗資料館学芸係
担当者名	中野正人
電話	0282-82-8544
FAX	同上
E-mail	rekimin@town.mibu.tochigi.jp



栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	郷土の偉人顕彰作業	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	1,997,900	
計	1,997,900	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額	自主財源等		
			県交付金		
報償費	100,000	100,000	37,500	0	壬生論語シンボルマーク作成謝金
消耗品費	100,000	100,000	37,500	0	イベント縦・横看板
印刷製本費	207,900	207,900	75,000	0	ポスター300枚、リーフレット1,200枚
手数料	1,392,000	1,392,000	525,000	0	ギネス申請・検定・登録料
委託料	198,000	198,000	75,000	0	記録映像作製
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,997,900	1,997,900	750,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県がまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	かんぴょう音頭・踊り発表会 — 民俗芸能を活用した村づくり事業—
事業主体の名称	かんぴょう音頭保存会/
代表者の名称	会長 栃木勝/
事業主体の所在	壬生町大字藤井1211
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 藤井地区に伝わる郷土芸能の伝承・後継者をとおり地域の活性化を図ることを目的とする。</li> <li>・設立年月日: 平成26年7月1日</li> <li>・構成員等: かんぴょう音頭保存会、藤井地区自治会長(6地区)</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>当該保存会が所在する地区には、五段囃子保存会も存続していたが現在は活動停止の状況にある。かんぴょう音頭保存会においては、町のふるさと祭りや郷土芸能フェスタ等に参加するなど、現在は活発な状況にある。しかし、これら芸能を披露する機会が減少すると、後継者育成などに支障をきたし、伝統芸能の伝承も危ぶまれると思われる。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>壬生だけではなく栃木県を代表する作物である「かんぴょう」をメインとした伝統芸能を後世に伝承するとともに、かんぴょう音頭のイベントをとおり藤井地区の人々の連帯感を育み、地域の活性化を図り、郷土愛の醸成を図る。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>①名称: かんぴょう音頭・踊り発表会 ②日時: 令和元年7月27日 ③会場: 藤井小学校</p> <p>藤井小学校にやぐらを設置し、やぐらを中心にかんぴょう音頭とともにかんぴょう踊りを実施した。ポスターの作製により藤井地区内外に広くPRし、認知度を高め、藤井地区以外の参加者も募った。また、特に多くの子どもに参加してもらうことにより後継者育成を図り、伝統芸能の継承につなげた。さらに、フェスティバルに合わせ、放課後子ども教室や保存会後継者育成事業なども行った。</p> <p>翌年度からは、藤井地区自治会が中心となり本年度同様に同祭りを継承していく計画である。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>郷土愛の醸成によるUITターン推進</p> <p>【数値目標】観光客入込数3,805,764人(H26)→25%増加(R1) 転入者数1,346人(H26)→20%増加(R1)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	かんぴょう音頭普及事業 かんぴょう音頭・踊り発表会の実施	かんぴょう音頭普及事業 かんぴょう音頭・踊り発表会の実施	かんぴょう音頭普及事業 かんぴょう音頭・踊り発表会の実施		かんぴょう音頭普及事業 かんぴょう音頭・踊り発表会の実施
事業費	1,254,793	500,000	500,000	2,254,793	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	0	0	1,000,000	0
うち県交付金	500,000	0	0	500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	254,793	500,000	500,000	1,254,793	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課 文化財係
担当者名	君島 利行
電話	0282-82-8544
FAX	0282-82-8544
E-mail	rekimin@town.mibu.tochigi.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	かんぴょう音頭踊り発表会	
対象年度	元	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	1,000,000	
負担金	254,793	かんぴょう音頭保存会員負担金(25名×10,000円)
計	1,254,793	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	416,196	276,285	138,142	139,911	発表会参加者記念品代(対ル、かんぴょう)、消防団等への謝礼
消耗品費	126,575	100,693	50,347	25,882	事務用品代等
印刷製本費	166,428	166,428	83,214	0	ポスター、ちらし代等
委託料	446,594	446,594	223,297	0	やぐら及び電気配線設置委託費
保険料	10,000	10,000	5,000	0	傷害保険料
食糧費	89,000	0	0	89,000	スタッフ食事代
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,254,793	1,000,000	500,000	254,793	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合